

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	しんまち児童館、第一・第二新町学童保育所及び戸倉学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社 こどもの森	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計	
収入	85,088,984	87,059,846	87,552,377	259,701,207	
収入内訳	指定管理料	84,970,119	86,088,882	86,609,405	257,668,406
	利用料金	0	0	0	0
	その他	118,865	970,964	942,972	2,032,801
支出	80,489,004	86,195,374	86,574,445	253,258,823	
収支差額	4,599,980	864,472	977,932	6,442,384	

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業務の 履行 状況 の評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書に基づき業務が実施されていた。ファイヤー企画を再開し、たき火での料理を実施した。毎日の朝礼・昼礼にて情報共有も適切に行っていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	条例に基づく開館日、開館時間は遵守されていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	職員の体調不良者が重なりやむを得なかった1日を除き、協定書上の必要な職員・支援員等を配置し、日々の運営も基準を満たした職員配置がされていた。	3	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保し、施設内に掲示していた。放課後児童支援員及び、認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	2	書類は施錠できる書棚に保管するなど、適正な管理をされており、事務室内は書類が整理整頓されていた。学童保育所での怪我等現場からの報告は迅速だったが、事業報告書等必要書類の提出が期日を守られないことがあり、改善が必要である。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	日常業務の中で職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。子どもたちがお手伝いスタッフとなり、毎日自発的に床掃除・消毒等を行う仕組みを作っていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	保守点検業務委託等の計画に基づき、各種点検等の実施されていた。	3	3

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		3箇年平均	
利用者数 利用件数 利用率	しんまち児童館	18,097人	しんまち児童館	26,124人	しんまち児童館	29,536人	しんまち児童館	24,586人
	第一新町学童	46.4%	第一新町学童	58.8%	第一新町学童	63.9%	第一新町学童	56.4%
	第二新町学童	42.0%	第二新町学童	50.9%	第二新町学童	58.3%	第二新町学童	50.4%
	戸倉学童	65.5%	戸倉学童	95.8%	戸倉学童	93.9%	戸倉学童	85.1%
	※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)		※児童館は延べ利用者数 ※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	
利用者満足度(%)	しんまち児童館	83.0%	しんまち児童館	88.0%	しんまち児童館	84.0%	しんまち児童館	85.0%
	第一・第二新町学童	96.2%	第一・第二新町学童	88.1%	第一・第二新町学童	94.4%	第一・第二新町学童	92.9%
	戸倉学童	95.3%	戸倉学童	89.4%	戸倉学童	94.5%	戸倉学童	93.1%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートを10月に実施。全体に対しての満足度において、91%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、特に学童保育所については前年度よりも高い水準となっていた。	3	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	児童館では利用者懇談会の回数を増やし、しんまちの木という子どもたちの要望とその結果を掲示する取組みを実施し、利用者の声を引き出す工夫をしていた。学童でも要望を受け配食サービスの残食処理方法を見直すなど柔軟な対応をしていた。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、92.4%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、引き続き高い水準を維持している。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	第一・第二新町学童で1件苦情があったが、速やかに改善対策を検討し現在は適切に対応していた。個人面談月間を設定し、保護者と直接話せる関係づくりを行っていた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報記載された書類については施錠できる書棚に保管し適切に管理し、利用者の情報はインターネットにつながっていないパソコンを使用、パソコンのワイヤロック等の対策も講じられていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づいた各種研修の実施がなされていることを確認した。館長による施設内勉強会も実施し研鑽を積んでいた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	市が実施した障害児研修や障害児報告会、担当者会議に積極的に参加していた。児童の個人の特性に応じた柔軟な対応をしていた。	3	4
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		3	—
施設水準の特性に応じた	自然災害等への対応	3	当初の計画通り、学童保育所は隔月、児童館は9月以降毎月避難訓練を実施していた。	3	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	児童館では、十小放課後プランとの合同イベントや六小昔遊び、並木公民館の子どもまつり、親子ひろばキャラバン等、地域との交流を行った。教育実習生等の受入れも実施した。戸倉学童では、家庭科室を借用した分散保育を継続して実施していた。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	3	学童では、加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置し、児童の特性に合わせて子ども同士のサポートや個別の対応を実施。アレルギー児については、お皿なども分け適切に対応していることを確認した。	3	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指標	評価項目	有無	実施状況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の状況内容の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 無

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>児童館については、乳幼児親子に向けた寝相アートの実施や、しんまちカフェを再開し保護者の交流の場になったり、しんまちの木という子どもたちの要望を掲示し結果が分かるような取り組みを行い、利用者のニーズを捉えた施設運営がなされていた。また、教育実習生等の受け入れや地域のおまつりに児童館コーナーを出店するなど、地域や学校等との連携を意識した取組も継続して実施されていた。</p> <p>学童保育所については、児童館のスペースの活用や学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行い、毎日の職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。また、自主事業として、引き続き昼食の配食サービス実施し、利用者のニーズに応じていた。</p> <p>今後も、学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。</p>	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	<p>昨年度よりも、児童館来館者数が3000人以上増加し、アンケート結果等においても良い結果を出すことが出来た。また、学童保育所の利用人数が増加する中でも、上手くスペースを活用したり、空き教室を借りたりすることで利用児童・保護者のストレスを緩和することができた。</p> <p>昨年度から引き続き実施した個人面談や長期休暇時の配食サービスにより、利用者の要望にもこたえることができた。</p> <p>児童館は新型コロナウイルスの影響で中止になったイベントもあったが、昨年度より開始し、好評だった寝相アートは今年度は回数を増やし利用者に喜んでいただけ、並木公民館・図書館との共催行事である子どもまつりには約1100人の児童・保護者・地域の方々が参加してくれた。</p> <p>来年度、様々なイベントが開催出来るようになれば、さらなる来館者増、満足度向上につなげていけると感じる。</p>	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>子どもたちの要望を聴き、保護者とも面談を実施するなど、サービスの向上や関係構築のための取組を行っていた。また、学校の協力を得て学校の施設を使用し、保育環境が密になり過ぎないようにする取組も行っていた。一方、報告書の提出等が遅れていたことについては、残念である。</p> <p>利用者のニーズを捉え、子どもたちにとっても保護者にとっても、安心して過ごすことのできる児童館・学童保育所の管理運営を行っていただきたい。</p>	3	3